



鳳凰スタンプ：植山 愛莉(卒業生)作
題字：書道部



発行：鳳凰高等学校
TEL：0993-53-3633

2021年(令和3年)12月20日
学校法人希望が丘学園
鳳凰高等学校
メディカルシステム科
総合福祉科
看護学科基礎課程・専門課程
普通科文理コース
普通科特進コースⅠ類・Ⅱ類
鹿児島県南さつま市加世田唐仁原1202番地
FAX：0993-52-7974

コロナに負けるな! 鳳凰生! ~バイオリン演奏会&花火大会~



今年度も新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、ほとんどの学校行事が中止となった。そんな状況の中でも、勉強や部活動に励む生徒たちを少しでも励ましたいという思いから、11月5日の夜、バイオリン演奏会と花火大会が開催された。バイオリン演奏会では、母国カザフスタンで20年以上プロのバイオリニストとして活躍され、現在は金峰町にお住まいの今用アシェルさんをお招きし、演奏を披露していただいた。世界で活躍するプロバイオリニストの音色に生徒たちは圧倒されつつも癒やされ、聞き入っている様子であった。花火大会では、80発以上の花火が打ち上げられた。



▲今用アシェルさん



楽しかったこと、大変だったこと、様々な思い出を振り返りながら花火を見つめた生徒たち。これからも、コロナに負けず、強く夢に向かって突き進んでほしい。



CLOSE-UP

～ 令和3年度文化祭 生徒たちの笑顔に迫る ～

10月30日、令和3年度文化祭が行われた。本年度のスローガンは「雲外蒼天～あの青春をもう一度、はばたけ鳳凰星～」。新型コロナウイルス感染症対策として、本年度も生徒・教職員のみでの実施となった。その中でも工



夫を凝らした展示や模擬店、ステージ発表が行われ、生徒たちは普段我慢が続いている中、リモートでステージ発表を楽しんだり、縁日で狙った景品を獲得したり、思い思いの時間を過ごすことができていたようだ。

ステージ発表



展示・模擬店・動画



HOOH SMILES



生徒会執行委員決まる

9月25日、任期満了に伴う生徒会執行委員改選が行われた。昨年度は新型コロナウイルス感染症対策として、事前に収録した演説が各教室で放映されたが、今年度は校内放送による演説が行われた。また、演説中には立候補者の名前・写真・自己紹介等が含まれたスライドも各クラスに配信された。

立候補者たちは慣れない演説や放送機材に緊張し、戸惑う様子もあったが、それぞれの学校に対する思いや公約などを自分の言葉でしっかりと伝えることができた。

演説後は全校生徒による投票が行われた。南さつま市からお借りした投票箱・記入台が設置された投票会場は厳格な空気に包まれ、緊張した面持ちで投票を終える生徒たちの姿が印象的であった。

投票の結果、以下の生徒が新生徒会執行委員として選出された。

10月9日には執行委員を対象とした感謝状授与式・任命式が行われ、前期委員の紹介・感謝状授与、後期委員の紹介・任命証授与が行われた。前期から引き続き委員を務める生徒を含めた、新たなメンバー15名で今後も学校を盛り上げていく。



生徒会長	西岡 ひよな	看護学科基礎課程 2年
副会長	稲吉 茶章	看護学科基礎課程 1年
副会長	松下 凱哉	看護学科基礎課程 2年
書記	朝崎 良夢	看護学科基礎課程 1年
書記	谷丸 紗彩	普通科文理 1年
会計	瀬戸 千恋	看護学科基礎課程 2年
会計	奥野 楓	看護学科基礎課程 1年
体育部長	諏訪下 海翔	総合福祉科 1年
体育副部長	茶園 陸	看護学科基礎課程 1年
体育部補佐	佐藤 誠之介	看護学科基礎課程 2年
文化部長	宇治川 満里奈	看護学科基礎課程 2年
文化副部長	下野 遥愛	普通科文理 1年
文化部補佐	宮田 梨菜	看護学科基礎課程 2年
風紀部長	横田 心彩	普通科文理 1年
風紀部副部長	石田 ゆい	普通科文理 1年

黙食徹底! 安心の毎日を目指して…

新型コロナウイルス感染症が流行して1年以上が経過した今でも、その脅威により市民生活は大きく変わり、感染拡大に怯える日々が続いている。生徒数の多い本校でも心配が尽きない。特に、食事時間の感染リスクが高いとされるため、南さつま飛びたて高校生事業の感染対策プロジェクト「黙食編」の活動を計画し学校全体の意識改善を目指した。



実行委員は、食事時間に各クラスを巡回し、感染対策状況をチェックする。さらに、そのチェックを点数化したクラス毎の週間平均点を算出し、各学年1位のクラスを表彰するという内容である。回を重ねるごとに衛生観念の向上が感じられ、本校生徒感染者ゼロの大きな原動力となっている。今後は、このノウハウを分かりやすくアレンジし、地元の小中学校に提供し、南さつま市全体で黙食を実践できるような取り組みを計画している。

KKBふるさとCM大賞 努力賞受賞

第19回 K K B ふるさとCM大賞で本校生徒が作成した動画が努力賞を受賞した。中心となったのは看護学科専門課程の1年生10名。2ヶ月かけて製作した動画は亀ヶ丘からのパラグライダーや大坂のボルダリング施設など、南さつま市の魅力的なレジャーや風景を知ることができる。制作した生徒は「梅雨の時期での撮影だったので、天候にも左右されることが多く、講義やテストの合間を縫って撮影することは本当に難しかった。動画編集の知識も無かったが、試行錯誤を重ねてなんとか作り上げることができた。完成した



動画がこのような賞を受賞して本当に嬉しい。多くの人に見てもらいたい。」と語った。動画は南さつま市のHPに掲載されている。

より実践的な校内演習で確かな技術を

コロナ禍の中、従来の医療機関での臨地実習が難しかったため、校内での演習への変更を余儀なくされた。-googleシートの着用など個人の感染



対策に加え、少しでも臨場感ある演習となるようシミュレーション人体モデルをフル活用し、あらゆる年代のさまざまな症例を再現。さらに、実習室を医療機関に見立てるため、新たにナースコールを設置するなどさまざまな工夫が凝らされた。ただし、看護の一番基本となるコミュニケーション技術の習得という点で限界があったため、県内で活動されている劇団の方々に相談したところ、



“未来の医療従事者のために”と、模擬患者を演じていただけたことになった。これにより、直接的なコミュニケーションを図りながら看護展開が実現し、患者の反応をみながら看護援助を工夫することができた。演習後には、「看護師という仕事の魅力を再認識できた」や「思うようにいかず悔しい思いをしたが、これを乗り越えて成長したい」と前向きな声が多く聞かれた。厳しい状況にもかかわらず快く引き受けて下さった劇団の方々にこの場を借りて改めて感謝したい。

書道部 九州大会で準優勝

11月14日、福岡県で開催された「第1回全国高等学校書道パフォーマンスグランプリ」に本校書道部が出場した。映画「レ・ミゼラブル」の劇中歌に合わせ「戦う者の唄が聴こえるか 鼓動とドラムが響き合えば 新たに熱い命が始まる」と力強く書き上げた。全世界の医療従事者へこのメッセージを届けたいという思いから、全員がナース服を着用しパフォーマンスに臨んだ。主将の中倉安里さん(看護学科2年)は「コロナ禍の限られた時間で練習に打ち込み、最高の表現ができた。準優勝で悔しいが、来年また頑張りたい。」と語った。



インフォメーション

● 鳳凰高等学校ホームページ
<http://www.hooh.ed.jp/>



鳳凰高等学校は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。